

◆◇ 会議録(要旨) ◇◆

会議テーマ	令和3年度 第1回阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略懇談会
開催年月日	令和3年7月6日(火)
会 場	阿南市役所6階 602・603・604会議室
出席者	<p>【委員】 岩佐委員、兼松委員、炭谷委員、平山委員、片山委員、藤井委員 計6人</p> <p>【市】 松内企画部長、東企画政策課長、岸本課長補佐 計3人</p>
内 容	
<p>【次第】</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事 (1)令和2年度実績・評価について</p> <p>3 閉会</p> <p>15:00 開会</p> <p>1 開会</p> <p>2 議事 議題(1) 令和2年度実績・評価について (事務局) 「第2期阿南市まち・ひと・しごと創生総合戦略令和2年度実績・評価シート」により説明を行う。</p> <p>【審議】 (委員)</p> <p>2点質問があります。1点目は、YouTube 阿南市公式チャンネル登録者数について、現時点ですでに614人(6月20日現在)であり、目標値を上げてはどうか。 今後は、阿南市の魅力発信で、登録者数を伸ばしてほしい。</p> <p>2点目は、中小企業事業者の経営相談件数について、コロナの関係(給付金)で相談件数が増えていると思います。相談件数が令和3年度も増えると思われ、相談件数が減少していくことを願いますが、中小企業者の事業廃止、閉店件数はどのくらいですか。 (事務局)</p> <p>まず1点目のご質問については、目標値の設定については、総合戦略は毎年検証・見直しを行うこととしていますので、今後の進捗状況などを踏まえ変更することも考えたい。</p> <p>阿南市の魅力発信のため、阿南市の魅力を盛り込んだ広報番組「FOURSEASONS ANAN AERIAL～空から阿南市の四季～」を制作、公開し、6月24日現在では1494回閲覧頂きました。これからも、登録者数を増やすとともに、閲覧数を増やしていけるよう、取り組んで参ります。</p>	

2点目のご質問については、市内中小零細企業の廃止、閉店件数を全て把握することは困難ですが、阿南商工会議所へのヒアリングで会議所会員の廃業件数については、令和元年度17件、令和2年度16件となっています。

(委員)

3点質問があります。1点目は、早期米コシヒカリ「阿波美人」の生産戸数について、目標値470戸はどこから出た数字ですか。「阿波美人」はJAアグリあなんのブランドであり、令和2年度のコシヒカリ出荷戸数は1,200戸で、うち「阿波美人」出荷数も900戸を超えています。生産者の高齢化により農家戸数は減少、圃場整備による担い手への集約が進むことが想定される中、生産戸数の維持を目標とするのはいかがなものか。また、米価下落が懸念され、政府による飼料用米への転換等の施策が出ていますが、市独自の対策はありますか。最後に、阿南市創生総合戦略ですから、JA東とくしま管内のことも含めるべきではないか。

2点目は、施設野菜(ハウスきゅうり)の栽培面積について、施設野菜でハウスきゅうり以外の品目目標はありますか。また、栽培面積の増加には多額の費用が必要であり、面積拡大のために市独自の助成など具体的な方策についてはどのように考えていますか。

3点目は、放置竹林再生面積について、基準値38haの内訳はどうなっていますか(地区および地目)放置竹林を毎年40ha再生すると理解してよいのですか。また、利用方法についての計画はどうなっていますか。令和2年度の45.4haはどこからでた数字ですか、経営継続補助金申請によるものでしょうか。再生にあたり手順や必要経費はどうなっていますか。

(事務局)

まず1点目のご質問の470戸の目標については、第1期総合戦略でのKPI設定時に、全体のコシヒカリの生産戸数から国の交付金事業としてブランド米生産に係る補助をした戸数の割合から目標値を設定したもので、平成27年度実績では、約400戸で第1期総合戦略でのKPIは430戸として設定し、そこからの継続となっております。

生産戸数の維持目標については、ご指摘のとおり農家の方の高齢化、後継者不足、また担い手への農地集積が進んでいる事などから、生産戸数を目標とする事は現状把握が難しい面があるかと思えます。

市独自の対策は特に行ってはおりませんが、主食米から飼料用米、輸出用米などへの用途転換を推進するため、関連する助成制度を説明するなど実施しております。

JA 東とくしま管内においても、特裁米として高付加価値米の取扱があることは認識しています。市としては、「阿波美人」での取扱規模が大きいことから目標としています。

次に、2点目のご質問については、他の産地戦略作物として「いちご、ブロッコリー、きゅうり、オクラ」を選定し、それぞれ作付目標を設定し推進しています。

作付面積拡大を図るため、新たに取り組まれる新規就農者、農家の方へ関連する助成制度の説明、関係団体と連携を図り、サポートを行うなどの推進を図っております。

最後のご質問については、基準値38haは、過去3年間の民間業者による森林整備活動実績を勘案し、新野地区をはじめ、山林を有する13地区において算定したものです。

放置竹林の再生は、基準値を3年かけて目標値40haに引き上げるため、荒廃した竹林を元の良好な状態に整備するものであり、これらの補助として、国においては、平成29年度から令和3年度の間、森林の保全管理や森林資源の利活用等を図るため、森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業が継続されており、本市では、森林の多面的機能の維持増進及び山村の活性化に資する取り組みとして、令和2年度は、45.4ha(実績値)の竹林整備を実施しております。なお、この事業では、整備後の利用方法に関し、竹林所有者の様々な意向を尊重するため、特段の規定は設けておりません。

(委員)

個別ではなく全体的な質問が3点あります。1点目は、このKPI実績評価シートは、いつでも誰でも参照、アクセスできますか。

設定当初は意識できていても、しばらく経てばKPIに対する意識は薄れてきます。まちひとしごとの好循環を確立させ地域特性を活かした自立的で持続的なまちを作っていくために、当事者意識を忘れずに業務に取り組む担当課や市民への見える化を望みます。

2点目は、実績だけでなく、市民に分かりやすい形で評価制度の概要、データ収集方法、評価体制などを公開しますか。

多様な目的で構成される施策や事業の成果を一定の評価指標で測定しようとする、どうしても指標設定者の主観で目標が解釈されがちになると思います。市民に信頼されるものであるかどうか、達成に向けてのカギになると考えますし、評価の信頼性の確保にもつながります。

3点目は、進捗状況や成果に対して、どの程度の資源を投入した結果であるかという費用対効果の検証や分析をどのように考えていますか。

進捗状況の遅れに対しては、社会背景と複合的に絡み合う要因がある場合があります。上記以外にも効率性、経済性、妥当性、必要性、優先性などの評価基準を設けることで、今後役に立つ多様な情報を確保できると考えます。

(事務局)

まず1点目のご質問について、各年度の実績・評価は、毎年ホームページで公表することとしております。

2点目のご質問については、総合戦略を推進するにあたり、庁内で組織する推進本部を設置し、懇談会によりその方向性や具体案について意見を聴取するなど、広く関係者の意見が反映できる体制を整え推進しています。推進体制や目標設定と検証の仕組みについてはホームページ上で公開しています。

また、個別具体的な重要業績評価指標については、基本目標に基づく具体的な施策を設定し、本市総合計画の指標を踏まえ設定しております。指標設定根拠(データ収集方法)の公表については、項目の中には、今後の調査で基本的な数値を把握するものもありますが、公表していきたいと考えております。

3点目のご質問については、費用対効果の検証は、投資した費用に見合う効果の検証は難しいことから、KPIの達成状況により事業の効果を図ることとしていますが、適切に予算を執行し、効果を生み出すことは重要であると考えており、目標値に関しては、アウトカム指標(いわゆる結果として住民にもたらされた便益)を基本とし、検証を行い、次年度以降の施策に反映させていくこととしております。また、委員ご質問の進捗状況については、社会背景などにより複合的に絡み合う要因がありますので、本戦略については、基本的に毎年度検証・見直しを行うこととしております。

(委員)

質問ではありませんが、最後の項目でSDGsの推進があります。先日、徳島新聞でも鳴門市の職員向けに講習会をしたとの記事がでておりましたが、講師が阿南市出身の渡邊さんであったということで、回りからはSDGsとはどういうものかという問い合わせがあり、市民(高齢者)の方の中には、まだまだ浸透していないなという実感がいたしました。今後は、SDGsとは何かという周知も行っていただければと思います。

(座長)

評価体制については、市で作って市で評価していくことになるのでしょうか。

(事務局)

庁内組織で構成する推進本部での検証をはじめ、幅広い分野で構成された懇談会や議会などから御意見を聴取するなど、幅広い意見が反映できる体制を整えております。

(座長)

外部評価が重要でないか。自分たちが立てた目標が、外からの目で見たら足りないことがたくさんあります。PDCAを回していくうえで、必ずしもすべて外部評価が必要であるとは思わないですが、よりよい総合戦略が進めていけるのではないかと思います。

(座長)

事務局から連絡をお願いします。

(事務局)

本日いただいたご意見を踏まえ、引き続き総合戦略を推進してまいりたいと思います。

なお、任期中の懇談会は、今回は最後になります。令和3年度の実績・評価の検証からは、新しい体制で進めていくこととなります。

閉会

15:40 終了